

しょう しん しょう めい 笑進笑明



平群中だより
編集者：吉迫隆志
NO.17
令和6年3月22日

「令和5年度が修了」

～1年間の締めくくり～
令和6年度に向けて



先週の土・日はまさに春本番を迎えたような暖かい日となりました。私の家の近くの公園には立派な桜の木があるのですが、その桜の木の一つ一つの蕾（つぼみ）が膨らんでいて、あと数日で、一気に開花するのだろうかと思いつつ観察していました。

さて、先週3/14（木）の卒業式で117名が巣立って行きました。とても、厳粛な雰囲気にも包まれた素晴らしい卒業式でした。私は、壇上で卒業生一人一人に「卒業証書」を手渡しました。全員と顔を見合わせながら渡しましたが、どの生徒もその表情はやさしく、そして、輝いていました。とても、いい顔をしていました。そして、在校生代表としての西川匡士朗さんからの“送辞,,では、「先輩方から受け取ったバトンは自分たちに任せてください。安心してください。」という意気込みを感じました。それに答える卒業生代表の米澤銀太さんの“答辞,,は3年間の思い出だけでなく、1・2年生への感謝と期待、そして、『やらない後悔よりやる後悔』・『家族や周りの人を大切に』というメッセージとともに先生方とご家族への感謝の気持ちが溢れた想い（暖かく、やさしく、感謝）で体育館は感動の空気につつまれていました。

もうひとつ、1・2年生が3年生の教室やろうかを花飾り等で装飾してくれ、卒業式会場に並べられた300席以上の椅子が縦横ひとつの乱れもなく整然と並べられたり（他にもたくさんあります）と・・・学校にとって最も大切な式にするために、全校生徒、職員すべてが気持ちをこめて作りあげた結果であると思っています。

これが、「伝統」といわれる「力」であり「意識」です。みんなでつないでいきましょう。目には見えにくいものですが、一人一人の心の中で大切に育てられ守られなければならないものです。このような素晴らしい平群中学校であることに“誇り,,をもって、これからは「もっともっと前に」突き進んでいきましょう！！

いよいよ、今年度の修了（しゅうりょう：一定の課程をおさめおえること）です。意味を記したように、各学年とも一年間の学びをおさめ、次にステップUPしていくことになります。一年間、どうでしたか？“早かったと感じている人,,，“長かったと感じている人,,

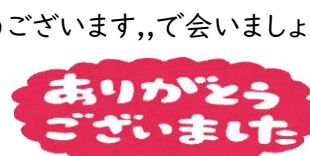
と人それぞれの感じ方に違いはあろうかと思えます。ただ、みんなに与えられた時間は変わりありません。今更と思うかもしれませんが、この当たり前のことをしっかりと理解し、進んでいくことが大切なのです。嬉しい時や楽しい時、夢中になっている時は、時間（とき）のたつのが早く、苦しいことや辛い時、時間の経過が長く感じると言われます。きっと誰だってそうです。もちろん、私もそう感じます。でも、山登りに例えると、坂道ばかりを登るのは誰でもしんどいですよね。つらいですが、ずっと登りばかりではなく、必ず平坦な道や下り坂もやってきます。そうやって自分自身が歩いていくことでしか見る事の出来ない景色に出会うことができます。その人しか味わうことのできない“感動,,を覚えます。振り返ってみて、その課程を長かったと感じるか、あっという間と思えるのかは達成したり、克服できた喜びと関係するのだと思います。

大切なことは、登ることを避けてはいけないということです。克服することを諦めてはダメだということなのです。目をそむけても解決できないし、景色を見ることも、まして“感動,,に出会うことができません。

今、中学生の君たちは、最も多感（たかん：ちょっとしたことに感じやすいこと。感傷的で敏感なこと）な時期ですから、いっぱい心配すること。感傷的で敏感なこと）な時期ですから、いっぱい心配することや、傷つくことも多いのです。そうやってみんな大きくなっていきます。怖がらずに、どんどん坂道を登りましょう！

3月23日から春期休業に入ります。約2週間（16日間）という時間を有意義に使いましょう。1年生から2年生へ。2年生から最上級生へ。次のステージへと進むにあたって、「新しい自分探し」に向けて良い準備をしておきましょう。そして、いつものことですが、体調面（病気をしない）や安全面（怪我をしない）に十分気をつけて過ごしましょう。新しい学年への期待と意気込みを胸に登校してくる皆さんの姿を楽しみにしています。4月8日（月）の令和6年度のスタート（始業式）では元気な”おはようございます,,で会いましょう。

保護者の皆さまへ



この一年、本校教育の推進に際し、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。子どもたちに、様々な力を身につけさせるため、教職員一丸となって日々努力を重ねておりますが、至らぬ事も多々あったことと考えます。

本校が常に活力あふれる学校として、子どもたちの笑顔あふれる学校として、日々前進できますよう、これからも努めてまいります。

令和6年度も、何卒よろしく願いいたします。